

神棲む谷ー地に生きる人々



中川賢俊まなざしの旅路

8.29^{sat} - 10.5^{mon}

火・水曜日は休館

但し、9月22日(火/休)、23日(水/祝)は開館

開館時間：10:00-17:00

(入館受付は16:30まで)

入館料：大人500円 高校生以下は無料

主催／会場

愛称“あんびい”

アンフォルメル中川村美術館



《桑畑と一年生》



霜月祭り・木沢



《木沢農協前バス停》

n a k a g a w a m a s a t o s h i

神棲む谷―地に生きる人々



中川賢俊まなざしの旅路



〈木沢小学校〉



〈木沢の掲示板〉



〈たった二人の新入生〉



〈当選発表〉



霜月祭り・木沢



霜月祭り・木沢



〈和田夏祭り〉



〈埋葬〉



“コンニチワ”

近代化に抗いながら祭りに親しみ、
自然に寄り添う人々に魅せられた
中川賢俊はカメラを携え、
遠近法ではない視角で人々と交差し、
この谷の地に生きる村の人たちの表情と
生きざまを深くとらえてきた。

人々の奥底にあるものこそ時代を照射し、
今を生きる私たちの羅針盤として
朽ちないものと見抜いた中川は、
やがて社会への還元と
啓発の営みを重ねた。

写真をととして時代の批評を宿す
中川賢俊の「まつろわぬ」思考こそ、
混迷の時代に
欠かせないものであろう。

体験ワークショップ／カメラの中に入れてみよう！

9月19日(土) 13:30～

カメラ・オブスキュラ(暗い部屋)の仕組みを体験します

13:30～14:00 ダンボールで大きな箱を組み立てて、小さな穴をあけます

14:00～15:00 箱の中で、小さな穴から入ってくる光を紙に映して楽しみます

参加には入館料が必要です(高校生以下無料) 申し込み不要

指導：現代美術家・山内孝一氏

展覧会トーク

8月30日(日) 13:30～ 本館展示室

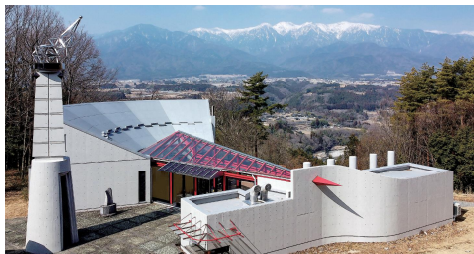
講師：鶴岡 哲先生(哲学者／フランス現代思想／一橋大学名誉教授)

演題：中川賢俊さんのお仕事と思い出

ご参加には入館料が必要です(高校生以下無料) 申し込み不要

中川 賢俊(なかがわ・まさとし)

1952年、東京・国立市生まれ。立教大学写真部で写真と出会う。2年中退し、山田勝重写真事務所のアシスタントを経て、80年に独立。この年に遠山の霜月祭りと出会い、8年通い撮影。85年、南信濃村で個展開催。87年、新宿で個展。90～92年、オーストリア・ザルツブルクに留学。93年、新宿で個展。94年、高森町へ移住し、Art Communication Abraxasを主宰。99年、霜月祭りを撮影した写真19点を上村まつり伝承館へ寄贈、展示。07年、地域のオピニオンリーダーを養成する学習組織・電援塾の設立、運営に尽力。23年6月死去。写真集に「神棲む谷―80年代遠山の記憶」95年、「田楽座 信州伊那谷歌舞劇団」97年がある。



主催／会場

アンフォルメル中川村美術館 愛称“あんびい”

自動車：中央道駒ヶ岳スマートICから25分 中央道駒ヶ根ICから30分 中央道松川ICから25分

電 車：JR飯田線飯島駅下車 タクシー20分 JR飯田線伊那大島駅下車 タクシー25分

〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大草2124番地 TEL.0265-88-2680

E-mail:museuminf@cek.ne.jp https://www.informelmuseum.com

助成：長野県地域発元気づくり支援金活用事業



アクセス

会期中このチラシをお持ちになってご来館いただくと、入館料一人100円引きいたします。(お二人まで、当日限り)

※当企画展会期中9月28日まで、収蔵品はアトリエ棟にて鈴木崋の作品のみ展示しています。